



岡田

ふるさとの やさしさを
たくわえて 志高く生きる
岡田の子

舞鶴市立岡田小学校
学校だより
11月号
令和5年10月31日

根気よく頑張りが続けることが自分をつくる

運動場のきんもくせいの花の香りも終わりを告げ、少し寂しさを感じます。また、朝晩は寒くなり日中との寒暖差が大きく、服選びが難しい時期です。そんな中、学校では、11月7日の校内マラソン大会に向け、業間マラソンの取組が始まっています。全校の児童が目標回周を持ち、8分間歩くことなく走ります。しんどくなることもあります。汗をいっぱいかきながら自分にも負けず一生懸命走り続ける姿には、芯の強さを感じます。学習面でも、国語科や算数科において基礎となる考えを書く力や計算力を付ける学習の真ただ中です。特に1年生の繰り上がり繰り下がり、のたしざん・ひきざんや2年生の九九は覚えるくらい繰り返して身に付けていかなければなりません。学習の中にも、すぐにはできないことがたくさんあります。その時は本当に苦しいですが、



できるようになるため

に、一生懸命練習したり、努力したりすることが計算力を付けるだけでなく、根気よく頑張りが続ける自分づくりにもつながると思っています。

保護者の皆様には、学校での学びの姿を知っていただき、成長に欠かせない温かな言葉がけや支えを今後ともよろしくお願いいたします。

人の中で・仲間の中で子どもは育つ



10月は、たくさんの校外学習があり、学校内では学べない貴重な経験をした子どもたちでした。「本物を見る」「実体験する」という経験は、本や教科書からは感じられないものや新たな視点を見つけることができました。10月19日には、子育て支援協議会主催「第2回花いっぱい運動」が行われました。今回も1、2年生が地域のみなさんと一緒に180個の花の苗を植えました。坂根様に元気に育つ花の苗の植え方を教えていただいた後、子どもたちは地域の方とお話しながら一緒に力を合わせて上手に植えていました。大勢での活動は、一人で取り組む時とは違い、「うまく

できたね」とほめてもらったり、「手伝おうか」と言ってもらえたりするので、相手の気遣いや優しさを感じることができます。それを「うれしい」と感じられた時に、自分も相手を大切にしようとするようになることができると考えます。人や仲間と活動する教育活動を取り入れていくことも学校教育の大切な役割ではないかと実感した活動となりました。

今回の花いっぱい運動にも土づくり、当日の苗植え等たくさんの方に支えていただきました。ありがとうございました。これからも、「笑顔で生き生き自分から」頑張る子どもの育成のため、教職員一丸となって努めてまいります。どうぞ子どもたちの成長のために、皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

舞鶴市立岡田小学校 校長 森 祐子

HP 順次更新中

okada-maizuru.edumap.jp

QR の読み込み OK



豊かな学びを創り、ともに育つ学校
岡田小学校